
第 94 回日本薬理学会年会

趣 意 書

第 94 回日本薬理学会年会

年会長 吉岡 充弘

(北海道大学大学院医学研究院 薬理学分野 神経薬理学教室 教授)

副会長 南 雅文

(北海道大学大学院薬学研究院 医療薬学分野 薬理学研究室 教授)

ご挨拶

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴社におかれましては、平素より本会の活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年3月8日（月）～10日（水）の3日間、第94回日本薬理学会年會を札幌市において開催いたします。

1927年に第1回日本薬理学会（總會）が東京において開催され、その後、苦難の時代もありましたが93年に渡り、学会としてのidentityを模索・確認しつつ発展してきました。薬理学の歴史はまた近代医学の発展の歴史でもあり、薬理学の貢献なくしては現在のような急速な医療の進歩はありえなかったといえます。

現代の薬理学は「生体内外の化学物質と生体の相互作用を、種々の研究方法により個体、臓器、組織、細胞、分子のレベルを貫いて総合的に研究し、さらに創薬・育薬などの薬物の疾病治療への応用を視野に入れ、薬物治療の基盤を確立する科学」と定義されます。本年會は、こうした背景を踏まえ、The Exciting Future of Pharmacology、「ワクワクする薬理学の未来」をテーマとして、薬理学コミュニティのみならず様々な立場の方々にご参加いただき、最新の薬理学研究成果の発表を通して、薬理学の持つ魅力を発信することを目指し、企画するものです。

薬理学における革新的な発見の背景にはしばしば、新しい研究手法や技術の開発や様々な学問領域の研究者同士の交流と、それに触発される発想の転換があります。本年會では、医学会連合に属する関連学会やアジア・大洋州における薬理学会との連携シンポジウムや特別講演、薬理学公開講座（市民・薬剤師・医師向け）、看護薬理学カンファレンスに加え、第93回年會で実現できなかった「創薬オープンイノベーション」も開催予定です。基礎研究のみならず、臨床、企業における様々な研究・教育・医療・企業活動に取り組んでおられます皆様方のご参加により、「薬理学の未来予想図」を共に描き、発信したいと考えております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行拡大阻止の観点から、WEB配信による開催も視野に入れ準備を進めてまいります。

なお、抛出いただきました協賛金について、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「協賛企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公表することについて了承します。

末筆ながら、貴社のますますのご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2020年6月吉日

第94回日本薬理学会年會

年會長 吉岡 充弘

（北海道大学大学院医学研究院薬理学分野 神経薬理学教室 教授）

副会長 南 雅文

（北海道大学大学院薬学研究院医療薬学分野 薬理学研究室 教授）

開催概要

1. 会議名称 第94回日本薬理学会年会
2. テーマ ワクワクする薬理学の未来
The Exciting Future of Pharmacology
3. 年会長 吉岡 充弘（北海道大学大学院医学研究院薬理学分野 神経薬理学教室 教授）
副会長 南 雅文（北海道大学大学院薬学研究院医療薬学分野 薬理学研究室 教授）
4. 会期 2021年3月8日（月）～10日（水）
5. 会場 札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）
6. 参加者予定数 1,600名
7. 予定プログラム 開会式、特別講演、年会企画シンポジウム、企業企画シンポジウム、公募シンポジウム・ワークショップ、一般演題（口演・ポスター）、江橋節郎賞受賞講演、学術奨励賞受賞講演、共催シンポジウム、テクニカルプレゼンテーション、創薬オープンイノベーション、ランチョンセミナー・企画展示
8. 年会事務局 北海道大学大学院医学研究院薬理学分野 神経薬理学教室
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目 医学研究院東南研究棟 5F
9. 運営事務局 株式会社コンベンションリンクージ 北海道本部
〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル 4F
TEL: 011-272-2151 FAX: 011-272-2152
E-mail: jps94@c-linkage.co.jp

10. 収支予算書

<収入の部>				(単位:円)
項目	数量	単価	金額	摘要
1 参加登録費	1,600 名		14,110,000	
事前(学術評議員)	500 名	10,000	5,000,000	
事前(一般会員)	400 名	9,000	3,600,000	
事前(非会員)	200 名	13,000	2,600,000	
事前(大学院生)	200 名	3,000	600,000	
事前(学部学生)	100 名	1,000	100,000	
当日(学術評議員)	50 名	13,000	650,000	
当日(一般会員)	50 名	13,000	650,000	
当日(非会員)	50 名	15,000	750,000	
当日(大学院生)	30 名	4,000	120,000	
当日(学部学生)	20 名	2,000	40,000	
2 演題登録費	700 件		2,100,000	
一般演題	700 件	3,000	2,100,000	
3 懇親会費	300 名		3,000,000	
事前	250 名	10,000	2,500,000	
当日	50 名	10,000	500,000	
4 共催セミナー費			13,706,000	
ランチョンセミナーA: 590席	2 枠	1,100,000	2,200,000	
ランチョンセミナーB: 300~200席	6 枠	880,000	5,280,000	
ランチョンセミナーC: 200席未満	6 枠	770,000	4,620,000	
スポンサードシンポジウム	1 枠	660,000	660,000	
テクニカルプレゼンテーション	4 枠	110,000	440,000	
創薬オープンイノベーション	2 枠	253,000	506,000	
5 展示出展料			7,150,000	
医療機器・医薬品: 基礎小間	30 小間	165,000	4,950,000	
医療機器・医薬品: スペース小間	10 小間	165,000	1,650,000	
アカデミア展示	5 小間	55,000	275,000	
書籍展示	10 小間	11,000	110,000	
音響展示	5 小間	33,000	165,000	
6 広告掲載料			2,134,000	
抄録集: 表4	1 件	220,000	220,000	
抄録集: 表3	1 件	154,000	154,000	
抄録集: 表2	1 件	187,000	187,000	
抄録集: 後付1頁	4 件	77,000	308,000	
抄録集: 後付1/2頁	10 件	44,000	440,000	
ホームページバナー	5 件	55,000	275,000	
会場スクリーン広告	10 件	55,000	550,000	
7 寄付金			13,000,000	
日本製薬団体連合会			12,000,000	
その他企業・個人・病院			1,000,000	
8 助成金			8,100,000	
札幌市			6,000,000	
日本薬理学会交付金			2,100,000	
合計			63,300,000	

<支出の部>			(単位:円)
項目	金額	摘要	
1 事前準備費	16,039,000		
(1)事務局費	4,220,000		
(2)ホームページ作成費	1,350,000		
(3)演題・事前参加登録関連費	2,200,000		
(4)通信運搬費	1,041,000		
(5)印刷・制作費・その他	7,228,000		
2 当日運営費	33,418,900		
(1)会場関連費	5,639,000		
(2)機材・備品関連費	14,268,200		
(3)当日運営人件費	7,096,500		
(4)看板・展示関連費	5,184,000		
(5)料飲関係費	420,000		
(6)会議用備品・その他	811,200		
3 招請・接遇費	6,727,400		
4 関連行事費	3,000,000		
5 事後処理費	560,000		
6 業務委託費	3,554,700		
合計	63,300,000		

募金要項

1. 募金の名称 第 94 回日本薬理学会年会 協賛金
2. 募金目標額 1,000,000 円（日本製薬団体連合会からの寄付金は含みません）
3. 募金の対象先 日本製薬団体連合会とその他企業・団体または個人
4. 募金期間 2020 年 5 月 29 日（金）～ 2021 年 3 月 7 日（日）
5. 寄付金の用途 第 94 回日本薬理学会年会の運営費に充当する
6. 寄付金の振込先
銀行名：みずほ銀行
店名：本郷支店
店番：075
口座番号：普通 2892040
口座名義：公益社団法人日本薬理学会 理事長 谷内 一彦
コウエキシヤダンホウジシニホヤクリガツカイ リジチョウ ヤナイ カズヒコ

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

7. その他

日本薬理学会寄付口座にお振込みいただく寄付金には税制上の優遇措置があります。

詳細は日本薬理学会 HP にございます「税制優遇措置について」をご参照下さい。

日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、学会等の会合開催費用の支援としての学会寄付、学会共催費に関する情報を各企業が自社のウェブサイト等を通じて公表することに伴い、第 94 回日本薬理学会年会に関する費用について公表されることを了承いたします。